



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会

《公式ウェブサイト》 気仙沼市社協 <http://keshakyo.web.fc2.com/>
ボランティアセンター <http://svc.miyagi.jp/dvc/hp/kesenuma>

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051/FAX 0226-31-2052
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231/FAX 0226-42-1241
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp



ほんの小さなやさしさを 広がる大きな支援の輪



赤い羽根
共同募金

10月1日 ▶ 12月31日

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が
全国一斉に始まります。今年も皆さまのあたた
かいご支援とご協力をお願いいたします。

気仙沼市社協

敬老作文 最優秀賞

ばあちゃん だいすき

大島小学校一年 阿部華恋

気仙沼市社協では、九月十三日に敬老作文コンクール審査会を開催しました。

小学校一年生から六年生までを対象とし、全作品数百六十一編、応募作品は六十四編。審査の結果、最優秀賞に六編（各学年一編）、優秀賞に十八編（各学年三編）の作品が選ばれました。今号では、最優秀賞作品をご紹介します。

わたしのばあちゃん。なまえは、きょうこさん。でも、わたしは、いつも、ばあちゃんってよんでいます。とてもやさしくて、げんきなばあちゃんです。

わたしが、あさ、がっこうに行くときには、いつもみえなくなるまで、てをふってみおくとてくれます。だから、わたしも、

「いつてきます。」
 といつて、ばあちゃんがみえなくなるまで、てをふりかえします。だから、まいにち、がんばってべんきょうするこ

とができます。
 あめがふつたときには、むかえにきてくれたり、わすれものをとどけてくれたり、い

つもわたしのことを、いちばんにかんがえてくれます。

ばあちゃんは、はたけしごともしています。だいこんやはくさい、ねぎ、じゃがいもなど、いろいろなやさいをつ

わたしは、いもほりのてつだいをしました。ばあちゃんがいもをほって、わたしができてきたいもをひろいました。

とつたいもをつかって、ばあちゃんがいものにつころが

しをつくってくれました。あまじよっぱくて、ほくほくしているところがしが、わたしは、だいすきです。ばあちゃん

ばわふるおばあちゃん

中井小学校一年 小山 羚

なつはあついののに、「さむい、さむい。」
 っていうわたしのおばあちゃん。

「ないしょだよ。」
 っていうて、ふくをかぞえてみせてくれました。なんと四まいもきていました。ちよつとふしぎなおばあちゃんです。

ちゃんは、おとなだからあたりまえのことだとおもっていただけ、

「れいちゃんのおっぴちゃん、すごいね。」

つて、みんなびつくりするから、やつぱりおばあちゃんは、すごいんだなあとおもいます。

でも、なんかいもあいさつをさせようとしていたり、もうわかっていふことをなんかいもおしえたりするおばあちゃん。ちよつとおかしいなあとおもいます。だけど、それはわたしにりつばなとおもいます。

おかあさんもちいさいときに、なんかいもいわれたんだって。おばあちゃん、わたしとおかあさんのせんせいみたいだとおもいます。おこるときもあるけれど、やさしいきもち

がわかるので、わたしはおばあちゃんがいも好きです。わたしがおおきくなつておばあちゃんのおせわをできるよになるまでいきてほしいです。百才までも百十才までもながいきをしてほしいです。だいすきだよ、おばあちゃん。



ぼくのじいちゃん

大谷小学校二年 倉永悠月

ぼくのじいちゃんは、ぼくの家のすぐちかくにすんでいます。だから、まい日会いに行きます。じいちゃんは、家ぞくのために、はたけや、ものおきごやを自分で作りました。前の家では、ぼくたちのためにプランコを作ってくれました。ぼくも大きくなりました、じいちゃんみたいにいろいろ作ってみたいです。

ら、とべないカラスをひろってきたことがあります。でも、鳥インフルエンザを心配いするばあちゃんにおこられていました。じいちゃんはいつも、ぼくをおこるけど、じいちゃんはいつもばあちゃんにおこられています。いつもケンカをするけど、すぐに仲直りをします。おこるのは、それだけその人のことを心ばいしているからだとおもいました。いつもいろんななりようりをしてくれるやさしいじいちゃん。いつまでも元気でいてね。

大すきぴいちゃん

気沼小学校三年 我妻悠愛

じいちゃんはむかし、りょうしをしていたので、魚をさばいて、りょうりをするのが、とても上手です。ぼくがつつてきた魚をいつもおいしくりょうりをしてくれます。だからぼくはまた魚つりに行きたくくなります。

わたしが大すきなぴいちゃん、八十四才の何でもできるひいおばあちゃんです。ぴいちゃんは、家のかたづけをしたり、花ややさいのせわをしたりします。わたしは、そんなぴいちゃんが大好きです。

あいが悪くなり入いんしました。わたしは、ぴいちゃんが大好きなので、すごく心配になりました。いつも家にいるぴいちゃんが、急にいなくなつて、わたしはさみしい気持ちになりました。

「悠愛、ぴいちゃんに会ったら泣くんじやない。大じょうぶ。」
と、わたしの家ぞくが言ってくれました。わたしは、「大じょうぶ。早く行く。」と、言いました。

じいちゃんはおこりんぼうで、ぼくは、いつもじいちゃんにおこられます。どういう時におこられるかという、弟にいじわるをした時や、あぶないことをした時です。弟

今年、夏、ぴいちゃんが入いんして

びいちゃんは、入いんして



大沢のおじいちゃん、おばあちゃん

小原木小学校四年 千葉 葉菜恵

わたしが住んでいる大沢に遊んだりしていると、は、たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんがあります。わたしの友だちのおばあちゃんや、姉や妹の同級生のおじいちゃんやおばあちゃんたちです。大沢は、そんなに大きな地区ではないので、毎日どこかで、必ずだれかのおじいちゃんやおばあちゃんに会います。「こんにちは。」とわたしがあいさつすると、だれもがみんな「こんにちは。」と、やさしい笑顔であいさつを返してくれます。雨の日の学校からの帰り道、わたしが歩いていっていると、車に乗せてくれて、家まで送ってくれるおじいちゃんがあります。公園で遊んでいると、「ほら、これ食べろ。」と言って、おやつをくれるおばあちゃんもいます。また、道を歩いていた

り、お姉ちゃんにも妹にも、みんなに同じように優しく声をかけてくれます。じいじの優しい言葉が、とてもうれいしです。おばあは畑で野菜を作っています。おばあは作る野菜は新せんでおいしいです。知らないお花の名前もありません。わたしに、いろいろなお花の名前を教えてください。おばあは、いそがしいお母さんのかわりに毎日お料理を作ってくれます。時々、お母さんがほせなかつた洗たく物をほしてくれれることもあります。してはいけないことを注意してくれたり、人としての礼儀を教えてください。近所のおじいちゃん、おばあちゃんがいってくれるから、わたしは大沢で楽しく安心して過ごしています。家にはじいじとおばあがいてくれるから元気でいられます。わたしは、これからも、大沢のおじいちゃん、おばあちゃん、家のじいじやおばあさんと仲良くしていきたいです。みなさん、これからもよろしくお願いします。

優秀賞

- おばあちゃんのおてつだい 鹿折小一年 村上 紗菜
- おばあへ 新城小一年 千村 陽向
- わたしのおばあちゃん 階上小一年 三浦 愛結
- 野さいはかせ 階上小二年 小野寺智哉
- おばあちゃんいつもありがとう 唐桑小二年 村上 幸生
- ぴいちゃんありがとう 津谷小二年 井上 東咲
- ぼくのおじいちゃん 九条小三年 昆野那由太
- じまんのおじいちゃん、おばあちゃん 松岩小三年 相場 恭介
- ぼくのじいちゃんとおばあちゃん 大島小三年 芦野 颯太
- 唐桑じいちゃん 鹿折小四年 村上 恭介
- ぼくの家のおっぴいばあちゃん 水梨小四年 齋藤 竜広
- 私のおっぴちゃん 唐桑小四年 松原安寿香
- おじいちゃんとおばあちゃんは、いつも 鹿折小五年 三浦 好賀
- 世界一のおじいちゃん 大島小五年 小野寺瑞来
- みんなに見守られて 唐桑小五年 小松 輝
- 僕のじいちゃんはおばあちゃんたち 鹿折小六年 佐藤 一心
- がんばれおばあちゃん 新城小六年 中澤 楓斗
- おばあちゃんはおばあさん 小原木小六年 千葉柚恵瑠

ぴいちゃんいっしょいっしょい

九条小学校五年 武田 美海

私のぴいちゃんは九十二才。二年ほど前からいっしょにくらしています。そのころからぴいちゃんは認知症という病気になる。今は、自分一人では服を着ることも、お風呂に入ることもできません。そんなすがたを見て、私はお母さんに言いました。

「ぴいちゃん、赤ちゃんみただね。」

するとお母さんは、「人はみんな、赤ちゃんにもどっていくんだよ。あなたが赤ちゃんだった時も、お母さんは、あなたがよごした服を何度も何度も着がえさせて、ヨチヨチ歩いて転びそうになった時は、だきかかえて。話すことが楽しくて、同じ話を何度もくり返すあなたに、お母さんはニコニコうなづきながら、何回でも話を聞いてあげてたっけな。お風呂をい

間は、もう少しで終わりを告げようとしています。来月から、ぴいちゃんは、しせつに入るものが決まりました。はなれるのはさみしいけれど、しせつにはお友達もたくさんいるみたいなので、ぴいちゃんはとても楽しみにしています。だから私は応えんじます。だから私は応えんじます。しせつに行っても、ぴいちゃんが元気で楽しく生活することを。今までありがとう。ぴいちゃんといっしょに過ごした時間を、私はぜったいわすれません。きちょうな時間をあたえてくれたこと、色んな経験をさせてくれたことに感謝して、精いっぱい笑顔で送り出してあげようと思います。「バイバイ」ではなくて、「いってらっしゃい」と。

私は今まで、だんだんと分からなくなっていくぴいちゃんを見ていて悲しかったけれど、お母さんの話を聞いて、「そうではないんだ」と思いました。今だからこそ、支える気持ちと、はげましの心を持って、やさしく手を差しのべてあげなければならぬのだ、と。

それからの私は、ぴいちゃんにできる限りのお手伝いをしました。たくさんお話も聞いてあげました。でも、ぴいちゃんと共に過ごしてきた時



◆◆ 平成29年敬老作文講評 ◆◆

市社協では、敬老の日を迎えるに当たって高齢者への尊敬や感謝、いたわりの気持ちや心のふれあいなどを通して、児童が高齢者に対する理解を深めながら敬老の心を培うことを目的とした敬老作文コンクールを行い、市内16の小学校より64点のご応募を頂きました。元教員、福祉関係者など9名の審査員による厳正なる審査によって、各学年最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばれました。

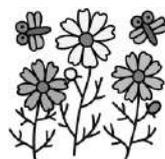
【講評】

1・2年生…生活の中で、よく祖父母ののを見ていると感した。寄り添いそばに居ることを望み、喜んでいる様子が伝わってくる作品が多かった。祖父母から色々なことを学びながら成長しているのが伝わってきた。

3・4年生…祖父母から教わったことを大事にして「これだからがんばろう」という思いや祖父母の優しさ、思いやりをうまく表現している。家族愛が溢れている作品が多い中、地域のお年寄りに目を向けた作品があり、とても良いと感した。

5・6年生…どの作品も祖父母との関わりが生き生きと書かれており、読んでいて楽しくなつた。祖父母の深い愛情を感じながら、その生活や話す言葉を体感し、お手本として成長している部分が見えて感心した。

来年もまた、心温まる多くの作品と出合えることを楽しみにしています。



おじいちゃんに学んだ事

大谷小学校六年 小野寺 杏太

多くのおじいちゃんは昔の事をたくさん教えてくれます。自分の人生、世の中のおつり変わりなど内容はさまざまです。

特にぼくが興味を持った事は二つあります。一つ目は、おじいちゃんは昔、北洋船や北転船の乗組員だった事、船長もしていた事です。長期にわたりきびしい荒波も何度も渡り、時にはシケで船に海水が入ってきて危険な体験をした事や氷落としをしながら船を動かしたりしていた事を教えてくれました。

常に命がけの仕事は何年にもわたりしてきた事を知り、おじいちゃんをほこりに思いました。昔の苦労があるからこそ、今、今を大切に生きているのだと思います。

今でもおじいちゃんは、海の仕事が好きで海にたずさわる仕事をしています。ウニ

やアワビの開口ではたくさんとってきます。ワカメの時期はお手伝いに行ったり、年を重ねた今でも元気いっぱい働いています。ぼくはあまり海には興味はありませんでしたが、おじいちゃんから色々教わり海が好きになりました。

二つ目は、昔の自分の人生の話です。幼少期に、戦争を体験した事、生活の様子など、今のぼくには想像も出来ない事ばかりです。

東日本大震災でぼくの家が流され何も無くなってしまいました。お父さんの実家へ避難しましたが、一カ月以上電気、水を使う事が出来ない生活を体験しました。あたり前にあった物が無くなり最初は今の状況を受け入れる事が出来ませんでした。そんな時お

じいちゃんは、「昔のおじいちゃんもこんな生活をしていただけで今でも元気だから大丈夫

夫だぞ。」とはげましてくれました。

あたり前に何でもある時代に生まれたぼくでも、震災を体験する事で色々学ぶ事が出来ました。電気が付いた時はうれしくて感動したのを今でも忘れる事は出来ません。

昔の経験を聞くと、「今は今なんだから。」

と思う事もありましたが、おじいちゃんから色々教えてもらった事で、今、不自由な生活をあたり前と思うのではなく、感謝して生活していきたいようになりたいと思いました。このような考え方に変えてくれたおじいちゃんに感謝し、これからも色々な話を聞いてたくさん学んでいきたいと思っています。



唐桑地区福祉まつり

日時 11月19日(日)
(開場) 9:00
(ステージ) 9:30

場所 唐桑保健福祉センター「燦さん館」

ご来場お待ちしております!!





気仙沼市社会福祉協議会 平成29年度社会福祉大会 開催のお知らせ

- 期日 11月30日(木) 13:00~16:00
- 場所 はまなすホール
(気仙沼市本吉町津谷新明戸136)



生活福祉資金貸付制度のご案内

本会では、低所得者世帯(東日本大震災での被災世帯も含まれます。)、障がい者世帯及び高齢者世帯に対し、宮城県社会福祉協議会の委託により、様々な利用目的に応じた資金の貸付相談を行っています。

無利子または低利子での貸付と必要な相談支援により、経済的自立や生活意欲の助長促進を図ることを目的とした制度です。申込みにあたっては、一定の要件がありますが、お気軽に本会または地区の民生委員児童委員にご相談下さい。

お申込み
お問合せ

気仙沼市社会福祉協議会(市内東新城2-1-2)
貸付相談専用電話 080-5949-7563
(祝日を除く月~金曜日 <9:00~17:00>)

開催決定!!

家族み~んなで楽しもう!

こどもわくわく広場

体験

相談

出店



日時: 11月5日(日) 10:00~14:00

会場: 気仙沼市社会福祉協議会
本所駐車場 (東新城2-1-2)



少雨決行

- 後援: 気仙沼市
- 協力: (社福)旭が丘学園、(一社)かもみ~る、(一社)プレーワーカーズ、市民生委員児童委員協議会、市ボランティア連絡会

くらしのあんしんお手伝い「まもりーぶ」

高齢や障がい等により、一人では日常の生活に不安のある方が、地域で安心して生活が送れるよう、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助を中心に、日常的な金銭管理や重要書類の管理・保管を通して、高齢者や障がいのある方等の権利擁護を図ることを目的とした事業のひとつです。

利用にあたっては、料金がかかります。

- 基本料金 …………… 700円/1か月
- 利用料金 …………… 500円/30分
- お預かり料金 …… 300円/1か月
- 利用提供に係る旅費 …… 走行距離数に応じて
※利用料金と旅費は減免になる場合があります。
詳しくはお問合せください。



お問合せ 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター ☎ 23-1182

老人福祉センター「福寿荘」介護予防事業

健康貯筋トク・とく講座 VIII

参加者募集!

対象者: 60歳以上の方ならどなたでも
参加費: 100円

お申込み・老人福祉センター「福寿荘」
お問合せ 電話 23-1022

※会場や持ち物なども、お申込みの際
にご確認ください。

1年ごとに歳は増えるものの、体力・筋力は減るばかり。そこで、老人福祉センター「福寿荘」では、1年間を通し健康貯筋の講座を開催しています。

10月から11月までの講座内容をお知らせします。

開催予定日	内 容	講 師
10/5・12・19・26 (木曜日)	ボウリング (10:30~12:00)	さくらボウル (インストラクター)
11/2・9・16・30 (木曜日)	レクリエーションダンス (10:30~12:00)	原 祝子 先生 (日本フォークダンス連盟指導員)



赤い羽根共同募金運動がスタートします!

赤い羽根 共同募金

みんなのまちをみんなでよくするために

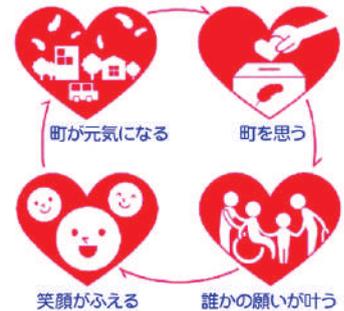
10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まります。今年も皆さまのあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

10月1日▶12月31日

平成29年度目標額 (赤い羽根募金と歳末たすけあい募金) は 13,610,000円です

地域のコミュニティづくりの大きな支えとなっています

共同募金は、だれもが安心して暮らせる「まちづくり」を進めるために必要な、住民団体やボランティア等による地域福祉活動を支援します。



平成28年度「赤い羽根募金」運動の実績報告

赤い羽根 募金総額

9,110,106円

内訳

毎戸募金	7,651,656円	街頭募金	612,232円
学校募金	130,954円	職域募金	8,193円
個人募金	9,890円	法人募金	58,758円
イベント募金	41,055円	その他	597,368円

市民の皆さまからたくさんの善意をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。前年度にお寄せいただいた募金から、今年度は気仙沼市内の下記団体の事業や活動に使われます。

【町内会活動支援配分 (テント配分のみ)】

団体名	配分内容	配分額(円)
三日町一区自治会、公営鹿折住宅自治会、東中才一区振興会、西中才振興会、金取自治会、下廿一自治会、廻籠振興会、三島振興会	町内会の取り組む安心・安全なまちづくり事業の支援として、大規模災害発生時や地域行事等に使用することを目的とした、テントの配分	1,360,000

【住民力・地域力・福祉力を高める支援事業配分】

団体名	配分内容	配分額(円)
大谷里海づくり検討委員会、中井交友会、神輿を担ぐ会弁天連、南町柏崎地区社会福祉協議会、滝の入二区自治会、小鯖自治会、中開発協議会、津谷地区社会福祉協議会、崎浜自治会、中井小学校区敬老会実行委員会、九条一区自治会、猪の鼻区振興会、九条五区自治会、内の脇一区自治会、東中才二区自治会	多様な生活課題や地域の課題解決に役立つ事業の一環として効果的・有効的に活用されるよう配分	2,330,000

【地域福祉活動配分】

団体名	配分内容	配分額(円)
社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会	気仙沼市社会福祉協議会が実施する、地域福祉活動事業(小地域福祉活動助成、ふれあい交流事業、敬老作文コンクール、福祉教育活動費補助金交付、ボランティア養成講座、社協だよりの発行、火災見舞など)に配分	3,916,446



赤い羽根共同募金 気仙沼市共同募金委員会

(☎22-0709 気仙沼市社会福祉協議会内)

ご意見・ご感想など、お待ちしております。

TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467 E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

介護サービス情報公表システム <http://www.kaigokensaku.jp/>



この広報紙は「赤い羽根」共同募金の配分によって作成しました。